

平成10年5月1日発行
第4巻第5号・通巻34号
(毎月1回1日発行)
平成8年10月31日第3種郵便物認可

子どもの発達と教育

 No.34

1998
may

エデュケーション

特集: この国の新しい幼稚園・
保育園の教育・保育内容を創造する

5



ハンガリーの幼稚園教育

タツシ・ジュラ ヨーゼフ・アッティラ 大学応用化学科助教
タツシネー・イルデイコー

ゲーム形式で教科教育

ハンガリーにおける幼稚園教育の歴史は、一八二八年にブランズヴィック・テレーズがブダに教育施設を開設したのに始まります。この種の幼児教育の施設は時代とともにかなり変わってきていますが、主たる教育システムは昔からほぼ同様の方式が踏襲されています。

最近では、ハンガリーの子どもたちは三歳から六歳まで幼稚園に通います。初めの二週間、子どもたちは母親に付き添われて幼稚園に通い、その間にさまざまな習慣を身につけ、行事やゲームに参加します。

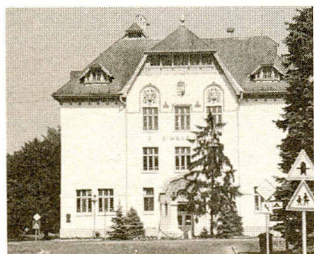
幼稚園における大まかな教育方針は国の指導方針に基づきますが、最終的には地方の事情や親たちの意見、先生方の教育方法などによって

決定されます。多くの場合、十分な収入を得る

ために両親が共稼ぎであるハンガリーでは、家族の労働時間に合わせて教育施設は朝六時半から夕方四時半まで開いているため、子どもたちは一日のかなりの時間を幼稚園で過ごします。

通常、午後には昼寝ないし休息の時間が設定されています。また、専業主婦である母親たちもこうした幼稚園のサービスを利用しますが、たいていの場合忙しい午前中だけということが多いようです。

大部分の幼稚園では、子どもたちは年齢に応じて三つのグループに分けられています。すなわち、三〜四歳児が年少組、五〜六歳児が年長組、そして四〜五歳児が



ギムナジウム(中学校・高校)の校舎

年中組です。国の指導要領は体育、環境への対応、文学、音楽、観察力向上、数学などさまざまな教科(むしろトビックスといったほうが適当かもしれません)をカバーしています。教科はすべて必修になっていますが、楽しいゲーム形式によって教えられています。数学だけは年中組から教えられますが、他の教科は年少組から教えられることになっています。

周りを見て学ぶ子どもたち

ハンガリーでは、国の伝統的な詩や歌を教える幼稚園の数は増えつつあります。詩や歌を学ぶことによって子どもたちは言葉を覚え、小学校に上がったときにそれが役立つことになりま

す。音楽教育はハンガリー式の教育方法によって行われています。この教育方法は有名な作曲家コダーイによって考案されました。その教育方法とは、まず始めにリズムを強調した単純な音階の練習から始まります。その後、比較的単純な音で構成された歌を学びます。それと並行して、単純なリズムを奏でるトリアングルや太鼓といった楽器をならすことも習います。

算数教育は集合論を基本におこなわれ、その

ために特別な玩具が用いられます。始めに先生は子どもたちに数量の観念を教えようとしています。たとえば見ただけで、どの皿にリングがたくさん盛ってあるかということが答えられるようにするといった具合です。六歳までに、子どもたちは一二までの数字を自信を持って数えられるように指導されています。

また、子どもたちの図画工作能力の育成にも力を入れて、絵を描いたり、粘土細工を通して技術を学んでいきます。このような技術を使って、子どもたちは母の日のためにプレゼントを作ります。

授業に積極的に参加するよう子どもたちに強要することはありません。たいていの場合、他の子どもたちがやっているのを見て、徐々に覚えていくようにしています。また、決して特別な仕事、たとえば、植物に水をやるかテーブルを片づける、あるいは昼寝用のベッドを整えるといった仕事をこなすように強制されることはありません。このような作業も見ているうちにだんだんと覚えて、このようにやれ



物理の体験学習ができる遊戯施設

ばいいんだというふうに自主的に習得していくようになっていきます。

小学校へ上がるために教科の習得を急がせるということもありません。もし、幼稚園の先生や両親が、六歳までに小学校へ上がるための学習の到達度が十分でないと感じた場合には、子どもをもう一年、幼稚園で教育

するということもあります。一方で、特殊な才能を有する子どもたちには特別な注意が払われます。ハンガリーには音楽、数学、語学など特別の分野に力を入れていく幼稚園があるほか、普通の幼稚園にも特別クラスが設置されています。

ハンガリーの幼稚園では読み書きや数字の計算は教えていません。しかし、必要とされる読み書きや計算能力を身につけることができます。なぜなら、子どもたちが好奇心を覚えたり、親の助けを借りたりして読み書きや計算を学ぶといったケースは頻繁に見られるからです。このことから、幼稚園での教育はたしかに重要ですが、家族の役割こそが子どもの成長により大きな影響を与えるように思われます。

アイヌモシリに集う

世界先住民族のメッセージ

にがたに
二風谷フォーラム
実行委員会 編

日本のアイヌ、アメリカ・カナダのインディアンなどの環太平洋民族をはじめ、世界の先住民族が自然との共生を訴える。国際政治学者の武者小路公秀、ノーベル平和賞を受賞したグアテマラのリゴベルタ・メンチュ・トゥム、アイヌ民族初の参議院議員・萱野茂らの興味深い提言を収録。また諸民族の伝統儀式・舞踊などを写真で紹介する。

四六判並製／全四六四ページ
定価三、二六二円(税込)
本文Ⅱ日本語・英語併記

発売／栄光
発行／栄光教育文化研究所